

光通信を用いた次世代衛星サービスを提供する Analytical Space に The Engine (MIT 初のベンチャーファンド) 等と計\$3.5M の共同出資 ～ 米宇宙領域への投資を加速 ～

株式会社ドリームインキュベータ（以下、DI）は、光通信を用いた次世代衛星サービスを提供する Analytical Space に、The Engine（\$200M を運用する MIT 初のベンチャーファンド）等と共に計\$3.5M の共同出資を行ったことをご知らせします。



Analytical Space は、リモートセンシング衛星の通信を低コストかつ高速化する、光通信を用いたデータ中継衛星ネットワークを提供するベンチャーです。

地表観測等を行うリモートセンシング衛星は、膨大な量の観測データを生み出しますが、衛星はそのほとんどの時間、データ通信できない海上にいるため、地球にデータ伝送できるのは1日2～3時間に限定されます。Analytical Space は、光通信技術を用いた小型衛星（既存技術の10分の1）でデータ中継することで、既存のリモートセンシング衛星が、大容量かつ遅延なく、低コストで地上へデータ伝送することを可能にします。同社の衛星ネットワークにより、大容量・高品質のデータ通信が可能となり、作物生産量の増加、気候変動の監視、地球上の物流の最適化といった国際課題に変革を起こすことが期待されます。

Analytical Space は、2018年初旬に、試験衛星初号機を国際宇宙ステーションから地球低軌道に打ち上げる予定です。DI は、Analytical Space に対し、日本展開支援等のインキュベーション活動を行ってまいります。

詳細は Analytical 社プレスリリースをご覧ください：[Analytical Space Raises \\$3.5M](#)（和訳）

■ 共同投資家

The Engine (<https://www.engine.xyz/>)：2016年10月に組成された\$200Mを運用するMIT初のベンチャーファンド。世界を変革するアーリーテクノロジーベンチャーを中心に投資を行う

■ Analytical Space 社について (<http://www.analyticalspace.com>)

Analytical Space は、世界初となる光通信を用いたデータ中継衛星ネットワークを提供。2016年に創業された同社のチームは、元 NASA、ホワイトハウス、Planetary Resources、MIT Draper 研究所等といった専門家から成り、宇宙テクノロジー・戦略・政策における豊富な経験を活用しています。

■ 株式会社ドリームインキュベータ (DI) について (<http://www.dreamincubator.co.jp/>)

戦略コンサルティングやビジネスプロデュース支援サービス等のプロフェッショナル・サービス及び、グループ会社への事業投資、ベンチャー企業への営業投資を通じて、新たな事業や産業の創造・成長支援を行う「The Business Producing Company」。